

創立70周年記念誌

特定非営利活動法人
富山県レクリエーション協会

特定非営利活動法人 富山県レクリエーション協会

創立70周年記念誌

創立70周年記念誌の発刊にあたって

特定非営利活動法人 富山県レクリエーション協会

理事長 弓部 裕明 2

創立70周年記念誌に寄せて

特定非営利活動法人 富山県レクリエーション協会

元会長 仲 外喜雄 3

創立70周年を迎えて

特定非営利活動法人 富山県レクリエーション協会

前会長 藤井 裕久 4

創立70周年を祝して

特定非営利活動法人 富山県レクリエーション協会

会長 奥野 詠子 5

年表 7

主要事業報告 13

設立趣意書 22

歴代役員一覧 23

種目加盟団体・市町村加盟協会の承認年度・課程認定校 24

加盟団体紹介 25

(公財)日本レクリエーション協会公認指導者数 37

特定非営利活動法人 富山県レクリエーション協会会員数 37

特定非営利活動法人 富山県レクリエーション協会定款 38

編集後記 45

創立 70 周年記念誌の発刊にあたって



特定非営利活動法人 富山県レクリエーション協会

理事長 弓 部 裕 明

この度、協会創立 70 周年にあたり記念誌を発刊することになりました。45 周年の際には記念誌が発刊され、50 周年時には追録版が出されました。今回は 20 年ぶりになりますが、時代の流れに乗りペーパーレス版として編集しました。

この 20 年で特筆すべきことは、第 23 回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクとやま 2010」と第 31 回全国健康福祉祭とやま大会「ねんりんピック富山 2018」への参画です。いずれもウォークラリー大会とニュースポーツ体験コーナーの運営でしたが、県内外から高い評価をいただきました。ご尽力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。また、平成 24 年に特定非営利活動法人（NPO 法人）の認定を受け、活動に弾みがついたこともあげられると思います。

毎年恒例の事業も順調に運営できましたことは、スタッフの創意工夫と努力の賜物であり感謝の念に堪えません。また、さまざまな委託事業を受注できたことも有難いことでした。

残念ながら 2020 年は、コロナ禍により多くの事業を中止や一部変更を余儀なくされ、誠に口惜しい 1 年となりました。そんな中で持続化給付金が国・県から交付されたことは、法人化のメリットでもあり大変有難いことと感じております。間もなくワクチン接種が進み、活動の垣根がなくなり、思う存分レクリエーション活動が展開できるよう期待しましょう。

一方、人類存続の危機をのりこえるため、持続可能な活動と世界をめざす国連提唱の SDGs（持続可能な開発目標）の運動が、社会のあらゆる分野で始まっています。私たちが展開しているレクリエーション運動とどのようにかわっていくべきか現在模索中ですが、素晴らしい方向性が見いだせば幸いです。

さて、今後の 10 年先を見通すと最大の課題となるのは、協会の明日を担う人材の発掘と育成であると思います。そのためにも、魅力ある活動を継続していく必要があり、協会員のたゆまぬ努力が求められています。

2 番目の課題は、協会財政の健全化であります。公認指導者数減少などによる財政困窮のため、新たに県協会協力金制度を新設したり、法人事業を拡大し収益の上がる新規事業の展開を目指す必要があります。

次の 80 周年までには、これらの課題を解決して明るい未来を創っていくよう努力してまいります。

創立 70 周年記念誌に寄せて



特定非営利活動法人 富山県レクリエーション協会

元会長 仲 外 喜 雄

(2012.4 ~ 2019.3)

富山県レクリエーション協会が、ここに 70 周年を迎えられお慶び申し上げます。

昭和 25 年 4 月 1 日の創立以来、富山県をはじめ行政関係者、歴代会長をはじめとする諸先輩役員の皆様、本協会の運営に携わっていただいた多くの会員の皆様に心より感謝申し上げます。

さて、私が当協会に関わったのが平成 24 年 2 月 1 日に「特定非営利活動法人」の登記を終えられ、新たな組織の会長職を平成 24 年 4 月から拝命することになりました。

在任中特に印象に残る事業は、平成 29 年ねんりんピックリハーサル大会を経て、翌年には第 31 回全国健康福祉祭とやま大会「ねんりんピック富山 2018」が富山県で開催されたことです。当協会は、立山町にてふれあいスポーツ交流大会「ウォークラリー」、富山市総合体育館にてふれあい広場「ニュースポーツ体験コーナー」の競技を主管し、開会式会場のスポーツ庁ブースでのニュースポーツ体験コーナーでも「ラダーゲッター」を担当しました。その際には会員の皆様の絶大なご協力を得て、成功裏に終えることが出来たことを嬉しく思います。

今や少子高齢社会となり、同時に障がい者へのレクリエーションもますます必要とされています。年齢・性別・障がいも問わず「いつでも どこでも だれでも 楽しく」のスローガンで始まった富山県レクリエーション協会が、今後ますます活発に充実した協会として発展するようご祈念申し上げ、お祝いのご挨拶といたします。

創立 70 周年を迎えて



特定非営利活動法人 富山県レクリエーション協会

前会長 藤 井 裕 久

(2019.4 ~ 2021.3)

富山県レクリエーション協会は、創立 70 周年を迎えることが出来ました。富山県をはじめとする行政関係者、歴代会長をはじめ役員の皆様、本会の運営に関わっていただいた多くの皆様に心から感謝を申し上げます。

昭和の時代において我々は、戦後の混乱期から高度経済成長、オイルショック、そしてバブル経済の崩壊などを経験しました。しかし同時に、地域や学校・職場においてレクリエーション活動の需要も高まり、本会も会員の増加と共に活発な活動を行ってまいりました。また、平成に入ると、一転して低成長経済の時代と戦後順調に増えてきた人口が減少に転じ、社会全体が個人を尊重する風潮の中で本会の活動も緩やかになってまいりました。その様な状況下であります平成 2 年 7 月には、諸先輩に大変なご尽力をいただき、富山県生涯スポーツ協議会が設立され、富山県一円でのスポーツ・レクリエーションの普及にはずみがついたと感じています。

令和の時代は、かつて無かった急激な少子化と高齢化の問題に直面し、会員が減少する中でいよいよ本会の存在意義が問われていると感じています。「人生百年時代」といわれる現代社会においてこそ、豊かな長寿社会にふさわしい「健康寿命の延伸」や「心の健康」を創るため、本会の活動の意義が求められているのだと思います。

今後は、新しい 10 年に向かって、気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境を整え、(公財)日本レクリエーション協会が提唱する「楽しさをとoshした心の元気づくり」に邁進されることを切に願います。

皆様には、本会に対する変わらぬご指導をいただきます様、お願い申し上げますとともに、県民の健康と幸せをご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

創立 70 周年を祝して



特定非営利活動法人 富山県レクリエーション協会

会 長 奥 野 詠 子

(2021.4 ~)

富山県レクリエーション協会の創立 70 周年記念誌の発行にあたり、これまで運営にご協力いただいた関係の皆さまに感謝申し上げます。

本協会は、昭和 25 年 4 月 1 日の創立以来、レクリエーションをととして地域づくりやコミュニケーションづくりを進めてきました。

特に平成 24 年 2 月 1 日に特定非営利活動法人（NPO 法人）として活動を始めてからは、生涯をととしてスポーツ活動に親しみ、楽しく継続することで、健康づくり・仲間づくり・生きがいづくりを推進することを目的とし、「いつでも・どこでも・だれでも」を合言葉に掲げています。

長寿社会の到来とともに健康寿命の延伸が大きな課題となりました。誰もが住み慣れた地域で、いきがいを持って健康に生活するためのツールとして、レクリエーション活動は大いに活用いただけるものと思います。また子どもから年配の方まで世代を超えて交流できる点やそれぞれの好みや特性に合わせて幅広い活動ができる点も、レクリエーション活動の大きな利点と捉えています。

さて昨年からは、新型コロナウイルス感染症が全国的に猛威を振るい、レクリエーション活動も制限せざるを得ない状況が続いています。しかしながら、長引くコロナ禍にあっては、平常時以上にレクリエーション活動こそが心身の健康を維持・増進に寄与するものと考えます。コロナ禍にあってレクリエーション活動の価値が改めて見直されるとともに、ワクチン接種が進むことで、一層レクリエーション活動の幅が広がり、活発に活動が再開されることを期待しています。

また時代の変化に対応しつつ、地域や職場、学校での余暇活動等の場面で活用いただけるよう、これまで以上に普及・啓発活動に取り組み、次の節目に向けて尽力していく所存です。

結びに、レクリエーション活動の普及・啓発活動にご尽力いただいているすべての皆さまに感謝申し上げるとともに、県民の皆さまのご健勝をお祈り申し上げます。



NPO
法人 富山県レクリエーション協会

年 表

平成12年度（平成12年4月）～ 令和元年度（令和2年3月）

年度	富山県レクリエーション協会のあゆみ	世の中のおどき
平成12年度 (2000年)	新加盟団体 富山県ターゲット・バードゴルフ協会 文部大臣表彰記念 協会創立50周年記念式典 記念誌追録発行 ・レクリエーションインストラクター養成講習会兼 レク・コーディネーター養成講習会（専門科目Ⅰ） ・第9回富山県民スポ・レク祭夏季大会・冬季大会 ・レクリエーション養成講座新カリキュラムスタート ・第14回チャレンジ・ザ・ゲーム審判員養成講習会 ・県民福祉公園太閤山ランド「遊び塾」8回 ・レクリエーションダンス講習会	・2000年富山国体 夏季・秋季大会開催 ・第36回全国障害者スポーツ大会「きらりんピック富山」開催 ・介護保険制度スタート ・シドニーオリンピック
平成13年度 (2001年)	新加盟団体 富山県グラウンド・ゴルフ協会 ・レクリエーションインストラクター養成講習会兼 レク・コーディネーター養成講習会（専門科目Ⅰ） ・2001福祉レクリエーション・セミナー in とやま ・第10回富山県民スポ・レク祭夏季大会・冬季大会 ・全国一斉ウォークラリー大会 5会場 ・第15回チャレンジ・ザ・ゲーム審判員養成講習会 ・県民福祉公園太閤山ランド「遊び塾」8回 ・レクリエーションダンス講習会	・アメリカ同時多発テロ発生 ・富山県民新世紀計画 ・ユニバーサル・スタジオ ジャパンオープン
平成14年度 (2002年)	・レクリエーションインストラクター養成講習会兼 レク・コーディネーター養成講習会（専門科目Ⅰ） ・2002福祉レクリエーション・セミナー in とやま ・第11回富山県民スポ・レク祭夏季大会・冬季大会 ・第19回全国一斉ウォークラリー大会 5会場 ・第16回チャレンジ・ザ・ゲーム審判員養成講習会 ・日レク共催 ニューススポーツセミナー ・コミュニケーション・ワークセミナー ・県民福祉公園太閤山ランド「遊び塾」8回 ・レクリエーションダンス講習会 ・リーフレット作成	・欧州単一通貨ユーロ通貨開始 ・学校週5日制完全実施
平成15年度 (2003年)	新加盟団体 富山県ダンススポーツ連盟 (公社)日本3B体操協会富山県支部 ・レクリエーションインストラクター養成講習会兼 レク・コーディネーター養成講習会（専門科目Ⅰ） ・2003福祉レクリエーション・セミナー in とやま ・第12回富山県民スポ・レク祭夏季大会・冬季大会 ・第17・18回チャレンジ・ザ・ゲーム審判員養成講習会 ・第20回全国一斉ウォークラリー大会 3会場 ・日レク共催 ニューススポーツセミナー ・有資格者フォローアップ研修会 ・元気フェスタ in 太閤山 ・県民福祉公園太閤山ランド「遊び塾」8回 ・レクリエーションダンス講習会 ・事務局 富山電気ビルディング（株）4Fに移転	・イラク戦争発生 ・田中耕一氏 ノーベル化学賞受賞

年度	富山県レクリエーション協会のあゆみ	世の中のごき
平成16年度 (2004年)	新加盟団体 富山県ユニカール協会 富山県スポーツチャンバラ協会 ・レクリエーションインストラクター養成講習会兼 レク・コーディネーター養成講習会（専門科目Ⅰ） ・2004 福祉レクリエーション・セミナー in とやま ・第13回富山県民スポ・レク祭夏季大会・冬季大会 ・全国一斉「あそびの日」キャンペーン 県内8会場 ・第19回チャレンジ・ザ・ゲーム審判員養成講習会 ・レクリエーションダンス講習会 ・あそびの城 県内2会場 ・県民福祉公園太閤山ランド「遊び塾」 8回 ・レクで元気づくり in 魚津「グループネットワーク事業」 ・事務局 富山電気ビルディング（株）2Fに移転	・新潟県中越地震発生 ・アテネオリンピック ・第1回東京マラソン ・石井隆一氏 新県知事 ・新砺波市、南砺市誕生 ・富山ライトレール開業
平成17年度 (2005年)	・レクリエーションインストラクター養成講習会兼 レク・コーディネーター養成講習会（専門科目Ⅰ） ・2005 福祉レクリエーション・セミナー in とやま ・第14回富山県民スポ・レク祭夏季大会・冬季大会 ・全国一斉「あそびの日」キャンペーン 県内6会場 ・太閤山ランドウォークラリー大会 ・第20・21回チャレンジ・ザ・ゲーム審判員養成 講習会 ・有資格者フォローアップ研修会 山田征夫ゲーム専科・キンボール講習会 ・あそびの城 県内3会場	・新富山大学開学 ・新富山市、新高岡市、 射水市誕生 ・愛知万博開催
平成18年度 (2006年)	・レクリエーションインストラクター養成講習会兼 レク・コーディネーター養成講習会（専門科目Ⅰ） ・2006 福祉レクリエーション・セミナー in とやま ・第15回富山県民スポ・レク祭夏季大会・冬季大会 ・第22・23回チャレンジ・ザ・ゲーム審判員養成 講習会 ・全国一斉「あそびの日」キャンペーン 県内6会場 ・介護予防講習会 ・県教委委託 元気アップ親子セミナー ・あそびの城 県内2会場	・新黒部市誕生
平成19年度 (2007年)	・富山県レクリエーション・カレッジ 2007 レク・コーディネーター養成講習会（専門科目Ⅰ） ・2007 福祉レクリエーション・セミナー in とやま ・第16回富山県民スポ・レク祭夏季大会・冬季大会 ・第24回チャレンジ・ザ・ゲーム審判員養成講習会 ・全国一斉「あそびの日」キャンペーン 県内3会場 ・全国巡回レクリエーション・ダンス講習会 ・介護予防講習会 ・課程認定校交流大会 チャレンジ・ザ・ゲーム大会 ・県教委委託 元気アップ親子セミナー ・有資格者フォローアップセミナー ・事務局 富山県教育文化会館4Fに移転 ・リーフレット作成	・能登半島地震発生 ・新潟県中越沖地震発生

年度	富山県レクリエーション協会のあゆみ	世の中のごき
平成20年度 (2008年)	新加盟団体 富山県ベタング連盟 ディスコン協会 ・法人化準備委員会設置 ・富山県レクリエーション・カレッジ 2008 レク・コーディネーター養成講習会 (専門科目 I) ・2008 福祉レクリエーション・セミナー in とやま ・第 17 回富山県民スポ・レク祭夏季大会 ニュースポーツ体験 ・第 21 回全国スポ・レク祭滋賀 2008 視察 ・第 25 回チャレンジ・ザ・ゲーム審判員養成講習会 ・全国一斉「あそびの日」キャンペーン 県内 2 会場 ・介護予防講習会 ・全国巡回レクリエーション・ダンス講習会 ・フォローアップ研修会 ・課程認定校交流大会 チャレンジ・ザ・ゲーム大会 ・富山市子育て野外活動事業	・東海北陸自動車道全線開通 ・北京オリンピック ・リーマンショック、世界同時不況発生 ・全国に先がけ富山県下で、レジ袋有料化始まる
平成21年度 (2009年)	・富山県レクリエーション・カレッジ 2009 ・2009 福祉レクリエーション・セミナー in とやま ・2009 年度 富山県民スポーツフェスタ (体験部門) ・第 18 回富山県民スポ・レク祭夏季大会 2 会場開催 ・全国一斉「あそびの日」キャンペーン 県内 2 会場 ・介護予防講習会 ・第 23 回 全国スポーツ・レクリエーション祭 リハーサル大会 課程認定校交流大会ウォークラリー ・全国巡回レクリエーションダンス講習会 ・フォローアップセミナー ・ノルディックウォーク体験交流会 ・第 22 回全国健康福祉祭北海道大会ウォークラリー予選 ・文部科学省委託 おやこ元気アップ事業 県内 2 会場 ・富山市子育て野外活動事業	・民主党新政権発足 ・裁判員裁判制度始まる ・オバマ大統領就任
平成22年度 (2010年)	・富山県レクリエーション・カレッジ 2010 ・2010 福祉レクリエーション・セミナー in とやま ・2010 年度 富山県民スポーツフェスタ (体験部門) ・第 19 回富山県民スポ・レク祭 チャレンジ・ザ・ゲーム ・第 23 回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクとやま 2010」交流大会 ウォークラリー ニュースポーツ体験 ・全国一斉「あそびの日」キャンペーン 県内 2 会場 ・チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員養成講習会 ・介護予防とレクリエーション講習会 ・全国巡回レクリエーションダンス講習会 ・文部科学省委託 おやこ元気アップ事業 県内 2 会場	・バンクーバーオリンピック 田畑、穂積選手銀メダル (スピードスケート)
平成23年度 (2011年)	・富山県レクリエーション・カレッジ 2011 ・2011 福祉レクリエーション・セミナー in とやま ・2011 年度 富山県民スポーツフェスタ (体験部門) ・第 20 回富山県民スポ・レク祭 ウォークラリー ・第 24 回全国健康福祉祭くまもと大会予選ウォークラリー ・全国一斉「あそびの日」キャンペーン 県内 2 会場 ・文部科学省委託 おやこ元気アップ事業 県内 3 会場 ・厚生労働省委託 介護予防活性化リーダー養成活用事業講習会 ・特定非営利活動法人 (NPO法人) 富山県レクリエーション協会設立 H24.2.1	・東日本大震災発生 ・国勢調査で日本人の人口初めて減少 ・富岩運河環水公園完成 ・スポーツ基本法施行 ・サッカー女子 W 杯 なでしこジャパン世界一 ・伏木港が日本海側の総合拠点に指定

年度	富山県レクリエーション協会のあゆみ	世の中のごき
平成24年度 (2012年)	・新会長 仲 外喜雄氏となる ・スポーツ振興くじ助成金交付で広報誌「ふたば」発行現在に至る ・富山県レクリエーション・カレッジ 2012 ・2012 福祉レクリエーション・セミナー in とやま ・2012 年度富山県民スポーツフェスタ（体験部門） ・第 21 回富山県民スポ・レク祭 ウォークラリー ・全国一斉「あそびの日」キャンペーン 県内 1 会場 ・チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員養成講習会 ・ニューエルダー体力チェック講習会 ・県立南砺福野高校「レクリエーション講座」 ・文部科学省委託 おやこ元気アップ事業 県内 2 会場 ・文部科学省委託「ニューエルダー元気塾」 ・厚生労働省委託 介護予防活性化リーダー養成活用事業講習会 ・全国巡回レクリエーションダンス講習会 ・ふれあいサロン研修会 富山市内 5 地区 ・ノルディック・ウォーク体験交流会 ・事務局員 今村昌代氏着任（H24.11～）	・東京スカイツリー開業 ・新湊大橋完成 ・高志の国文学館開館 ・ロンドンオリンピック ・四季防災館（県広域消防防災センター）開館
平成25年度 (2013年)	・富山県レクリエーション・カレッジ 2013 ・2013 福祉レクリエーション・セミナー in とやま ・2013 年度富山県民スポーツフェスタ（体験部門） ・第 22 回富山県民スポ・レク祭 ウォークラリー ・全国一斉「あそびの日」キャンペーン ・第 26 回全国健康福祉祭こうち大会予選ウォークラリー ・文部科学省委託「ニューエルダー元気塾」 ・フォローアップ講習会 ・県立南砺福野高校「指導者養成」 ・ライフスポーツ財団助成事業 街中ウォークラリー in 婦中 2013 ・全国巡回レクリエーションダンス講習会 ・ノルディック・ウォーク体験交流会	・置県 130 年
平成26年度 (2014年)	・富山県レクリエーション・カレッジ 2014 ・2014 福祉レクリエーション・セミナー in とやま ・2014 年度富山県民スポーツ・フェスタ（体験部門） ・第 23 回富山県民スポ・レク祭 ウォークラリー ・文部科学省委託「ニューエルダー元気塾」 ・文部科学省委託「課題解決系スポーツ」 スポーツで大作戦 MISSION in HIMI ・県立南砺福野高校「指導者養成」 ・ライフスポーツ財団助成事業 街中ウォークラリー in 婦中 2014 ・日レク主催 ラダーゲッター講習会 ・障害のある人ない人のスポーツレクリエーション交流会 ・フォローアップ講習会 ・全国巡回レクリエーションダンス講習会 ・ノルディック・ウォーク体験交流会	・消費税 8%（4 月 1 日より） ・北陸新幹線長野～金沢間開業 ・「世界で最も美しい湾クラブ」へ富山湾加盟

年度	富山県レクリエーション協会のあゆみ	世の中のおごき
平成27年度 (2015年)	・富山県レクリエーション・カレッジ 2015 ・2015 福祉レクリエーション・セミナー in とやま ・2015 年度富山県民スポーツフェスタ（体験部門） ・第 24 回富山県民スポ・レク祭 ウォークラリー ・第 28 回全国健康福祉祭山口大会予選 ウォークラリー ・チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員養成講習会 ・ライフスポーツ財団助成事業 街中ウォークラリー in 婦中 2015 ・フォローアップ講習会 ・元気とやまスポーツライフ事業「スキルアップ講習会」 ・子どものゆめ基金 子どものコミュニケーション能力を高めるレクリエーション・セミナー ・日レク主催「福祉レクリエーション・ワーカー養成講座」スクーリング富山会場 ・ノルディック・ウォーク体験交流会	・マイナンバー制度スタート ・富山市ガラス美術館開館
平成28年度 (2016年)	新加盟団体 富山県ターゲット・バードゴルフ連盟 ・富山県レクリエーション・カレッジ 2016 ・2016 福祉レクリエーション・セミナー in とやま ・2016 年度富山県民スポーツフェスタ（体験部門） ・第 25 回富山県民スポ・レク祭 ウォークラリー ・第 29 回全国健康福祉祭長崎大会予選 ウォークラリー ・全国一斉「あそびの日」キャンペーン 1 会場 ・チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員養成講習会 ・日レク委託 健康スポレクひろば（元気クラブ）普及推進事業 氷見市 ・障害のある人ない人のスポーツレクリエーション交流会 ・元気とやまスポーツライフ事業「スキルアップ講習会」 ・レク・インストラクター新カリキュラム研修会 ・ノルディック・ウォーク体験交流会	・熊本地震発生 ・文化庁日本遺産登録 富山市岩瀬 ・ユネスコ無形文化遺産登録 高岡御車山 城端曳山・魚津たてもん ・リオデジャネイロオリンピック
平成29年度 (2017年)	・富山県レク・インストラクター養成講習会 2017 ・2017 福祉レクリエーション・セミナー in とやま ・2017 年度富山県民スポーツ・フェスタ（体験部門） ・第 26 回富山県民スポ・レク祭 ウォークラリー ・第 30 回全国健康福祉祭あきた大会予選 ウォークラリー ・第 30 回全国健康福祉祭あきた大会 視察 ・第 31 回全国健康福祉祭富山大会 「ねんりんピック富山 2018」リハーサル大会 ・全国一斉「あそびの日」キャンペーン 1 会場 ・ラダーゲッター講習会 ・スポーツ・レクリエーション指導者養成講習会 ・日レク委託 健康スポレクひろば（元気クラブ）普及推進事業 ・元気とやまスポーツライフ事業「スキルアップ講習会」 ・レク・インストラクター新カリキュラム研修会 ・ノルディック・ウォーク体験交流会 富岩運河環水公園 ・リーフレット作成	・新富山県美術館オープン ・第 68 回全国植樹祭とやま 2017（魚津） ・文化庁日本遺産登録 伏木北前船寄港地・船主集落

年度	富山県レクリエーション協会のあゆみ	世の中のごき
平成30年度 (2018年)	新加盟団体 富山県パークゴルフ協会 富山県スポーツウェルネス吹矢協会 ・富山県レク・インストラクター養成講習会 2018 ・2018 福祉レクリエーション・セミナー in とやま ・2018 年度富山県民スポーツ・フェスタ（体験部門） ・第 27 回富山県民スポ・レク祭 ウォークラリー 兼全国一斉「あそびの日」キャンペーン ・第 31 回全国健康福祉祭とやま大会予選 ウォークラリー ・第 31 回全国健康福祉祭とやま大会 「ねんりんピック富山 2018」ウォークラリー交流大会、 ニュースポーツ体験、開会式会場ラダーゲッター ・新カリキュラム指導者講習会 ・健康スポレクひろば（元気クラブ）普及推進事業 ・元気とやまスポーツライフ事業「スキルアップ講習会」 ・ノルディック・ウォーク体験交流会 岩瀬	・西日本豪雨発生 ・「18 歳成人」改正民法成立 ・大坂なおみ氏ウインブルドンにて日本人初テニス優勝 ・文化庁日本遺産登録 高岡市歴史まちづくり
平成31年度 令和元年 (2019年)	・新会長 藤井 裕久氏となる ・70 周年記念誌事業委員会設置 ・富山県レク・インストラクター養成講習会 2019 ・2019 福祉レクリエーション・セミナー in とやま ・2019 年度富山県民スポーツ・フェスタ（体験部門） ・第 28 回富山県民スポ・レク祭 ウォークラリー ・全国一斉「あそびの日」キャンペーン 街中ウォークラリー in 婦中 2019 ・第 32 回全国健康福祉祭和歌山大会予選 ウォークラリー ・日レク委託「元気アップ・プログラム」 ・スキルアップ講習会 ・新カリキュラム指導者講習会 ・健康スポレクひろば（元気クラブ）普及推進事業 ・ノルディック・ウォーク体験交流会 滑川	・新元号「令和」（5月1日より） ・朝乃山大相撲夏場所で初優勝 ・消費税 10%（10月1日より） ・ラグビーワールドカップ 2019 ・ローマ法皇 38 年ぶり来日 ・台風 19 号長野県内に甚大な被害 北陸新幹線運休 ・世界遺産首里城火災 ・八村塁氏 ワシントン・ウィザーズ入団 ・新型コロナウイルス感染症流行 ・「世界で最も美しい湾クラブ」 世界総会 in 富山開催





主要事業報告



▶ 第23回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクとやま2010」



第23回全国スポーツ・レクリエーション祭

スポレクとやま2010

きときとスポレク きてきて富山

平成22年10月16日(土)～19日(火)

◆概要

平成22年10月16日～19日の4日間は好天に恵まれ、「きときとスポレク きてきて富山」をスローガンに、国内最大の生涯スポーツの祭典である第23回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクとやま2010」が本県で開催された。

「全国スポーツ・レクリエーション祭」は、勝敗のみを競うのではなく、誰もが、いつでも、どこでも気軽にスポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、交流を深めることを目的として、1988（昭和63）年から各都道府県持ち回り方式で毎年開催されてきた。

JR 富山駅北口に近い富山市総合体育館と富岩運河環水公園周辺で開会式が行われた。特別行事では、富山県の美しく豊かな自然や伝統文化のPR、食の富山ブランド販売など、魅力溢れる「人が輝く元気とやま」を全国に発信した。また、全国初となる県内全市町村で開催した29の種目別大会では、各都道府県の代表選手や韓国の選手らが熱戦を展開するとともに、地域や世代をこえて、多彩な交流を深めた。

開催期間中は、開会式や特別行事には延べ11万人、各市町村で開催された種目別大会では、延べ9万9千人の参加があるなど、祭典の総参加者数は21万3千人という大きな規模のイベントとなった。

◆富山県レクリエーション協会の企画

富山県レクリエーション協会は、誰もが参加できるフリー参加11種目の中の「ウォークラリー大会」を主管した。また、特別行事「ニュースポーツの紹介や体験コーナー」も担当し、子どもからお年寄りまで、多くの県民はじめ全国の方々との出会いと交流を深めた。

○ウォークラリー大会

10月17日（日）富山市富岩運河環水公園をスタートゴールとし、その周辺で実施

- | | | |
|--------|-----------|--------|
| 4つのコース | 1 運河コース | (約3km) |
| | 2 お城コース | (約5km) |
| | 3 ぶりコース | (約5km) |
| | 4 たてやまコース | (約7km) |

参加者は1,000名（1チーム；3～5名） スタッフは130名



どのコースも、「きときとスポレク、きてきて富山」が満載された内容で、ふるさと富山が満喫でき新たな富山の再発見の機会になったと大好評を得た。

ウォークラリーとは、各グループがコース図に従って進み、途中で与えられる課題を解決しながら設定された一定の時間で歩き、目的地を目指す。勝敗はタイム得点と課題得点の合計で決まるが、設定時間より早く着きすぎても減点となる。このため、体力差や年齢、性別に関係なく誰でも参加できることが利点である。

○ニュースポーツ体験コーナー

10月16日（土）・17日（日）富山市富岩運河環水公園を中心に、ニュースポーツ体験コーナーを設け、様々なコーナーでニュースポーツに親しみ、大いに楽しむことをねらった。

環水公園エリアではカヌーやチャレンジ・ザ・ゲームなど22種目、牛島広場エリアではスポーツ吹矢やディスクゴルフなど9種目、プールバールエリアではロープスキッピングの1種目、合計32種目とステージイベントなどが展開され、3万3千人の参加者で賑わった。

ニュースポーツ体験コーナーは、生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動に対する提案や体験、そして心尽くしのおもてなしで、大盛況であった。



◆きときと君

会場の富岩運河環水公園内では、スポレク祭マスコットの「きときと君」が大活躍！！シンガー・ソングライターの高原兄さんが作曲して歌う、大会イメージソング「きときとの夢」に合わせ参加者と一緒に「きときと夢体操」を楽しんだ。また、大会後は、県内各地で老若男女に「きときと夢体操」のバージョンを変えて健康づくりが普及された。そして「きときと君」は北陸新幹線の開通やねんりんピックなどの富山キャラクターとして、今も大活躍している。

なお、翌年「第24回全国スポーツ・レクリエーション祭」栃木県大会をもって終了された。



▶「第31回全国健康福祉祭とやま大会」ねんりんピック富山2018



第31回全国健康福祉祭とやま大会

ねんりんピック富山2018

夢つなぐ 長寿のかがやき 富山から

平成30年11月3日(土)～6日(火)

総合開会式

総合開会式は平成30年11月3日(土)富山県総合運動公園陸上競技場で全国から選手や役員・出演者・観客等、約19,600人が参加し立山連峰がスッキリ見えた晩秋の空の下で開催されました。

11月4日(日)～5日(月)に県内15市町村でスポーツ交流大会(10種目)、ふれあいスポーツ交流大会(14種目)、文化交流大会(5種目)が繰り広げられました。

総合閉会式は11月6日(火)富山市芸術文化ホール(オーバード・ホール)にて「越中おわら」の披露で始まりました。式典では次期開催県の和歌山県に大会長石井隆一富山県知事より引き継ぎが行なわれました。



開会式



富山県選手団

富山県レクリエーション協会は、11月3日(土)総合開会式イベント会場にてスポーツ庁依頼の「ラダーゲッター体験」コーナーを担当、鈴木大地スポーツ庁長官も体験されました。



鈴木大地長官のプレー



長官とスタッフ

「健康・福祉・生きがい共通イベント」ふれあい広場ニュースポーツ体験

11月3日(土)～5日(月)富山市総合体育館で開催されたコーナーを担当、輪投げ、ディスクゲッター、ラダーゲッター、スカットボール、スポーツ吹き矢等5種目のニュースポーツ体験は幼児から高齢者の参加者で賑わいました。



いろいろな参加賞



スポーツ吹き矢



スカットボール

ふれあいスポーツ交流大会「ウォークラリー」

11月4日（日）立山町グリーンパーク吉峰特設コースにて全国から高齢者の部40チーム、一般の部4チームの参加があり「立山コース」「吉峰コース」の2コースで交流を楽しめました。

開会式前に小雨が降り天候が危ぶまれましたが選手が集まる頃には晴れ上がり、晩秋のアップダウンのあるコースで予定通り開催することが出来ました。

大会成績	高齢者の部	立山コース優勝	坂井市レク協会スーパーウォークーズ（福井県）
		吉峰コース優勝	ちんぐるま（富山県）
	一般の部	優勝	菜の花（千葉県）
	最高齢者賞	高山 清平（群馬県）	大久保慶子（さいたま市）
	高齢者賞	関 貞雄（福島県）	富田 泰暢（島根県）
		新渕 久郎（岩手県）	
		吉田フミエ（石川県）	尾近 澄子（富山県）
		澤崎 暁子（福井県）	



競技役員 161名（立山町職員） 37名（県レク協、立山町レク協） 13名（富山健康科学専門学校学生）
大会運営補助及び競技補助員（アテンダー）に立山町立雄山中学校生徒
その他各種団体、保育所など多くの方々のご協力で大会が行われました。

ふるまいおもてなし料理 立山まほろばきのご鍋



スタート



コース内



チェックポイント



チェックポイント（輪投げ）



優勝チーム「ちんぐるま」



中学生の応援ポスター



立山権現太鼓



まほろばきのご鍋



中学生ボランティア

▶ こども体力向上推進事業「おやこ元気アップ！事業」

保護者が子どものからだの現状を理解し、健やかなからだを育む上で各家庭での取組が不可欠であることに気づいてもらうことを目的として県内9会場で開催された。

平成 21 年度		平成 22 年度	
5 月 2 日（日）	立山町立日中上野小学校	7 月 3 日（土）	黒部市立三日市小学校
9 月 12 日（土）	立山町立釜ヶ淵小学校	12 月 11 日（土）	射水市立大門わかば幼稚園
平成 23 年度		平成 24 年度	
6 月 26 日（日）	魚津市立経田小学校	7 月 21 日（土）	南砺市井波社会体育館
9 月 11 日（日）	氷見市元気ふれあい館	8 月 12 日（日）	滑川市総合体育センター
11 月 3 日（祝）	砺波市戸出小学校		サン・アビリティーズ滑川

各会場では「親子一緒に運動プログラム」「子ども向けプログラム」「保護者向けセミナー」「子育てしゃべり場」と共通のプログラムで行われた。

「親子一緒に運動プログラム」



「子ども向けプログラム」



「保護者向けセミナー」



「子育てしゃべり場」



▶「平成26年度 若者のスポーツ参加機会拡充を通じた地域コミュニティ活性化促進事業」

スポーツのチカラで地域の社会課題に取り組む！

課題解決系スポーツで大作戦

目的「スポーツのチカラで地域の社会課題に取り組む！」。「地域課題」の解決につなげるような新たなスポーツ活動を実施。地域課題に取り組みたいという若者の思いに応える内容で新たなスポーツ活動を氷見市周辺に在住または在勤の20・30代男女の参加で展開した。

平成26年9月14(日) 10:00～15:00	海岸をきれいにし海越しの立山連峰の展望を取り戻せ ビーチクリーン&ビーチサッカー	島尾海浜公園の海岸
平成26年10月19(日) 10:00～15:00	天然記念物イタセンパラをブラックバスから救え スポーツフィッシング	JA十二町支所前の万尾川
平成26年11月9(日) 14:00～17:00	街を歩いて氷見の魅力を徹底調査して堪能せよ 氷見ウォークラリー	いきいき元気館周辺



ビーチクリーン



ビーチサッカー



スポーツフィッシング



「忍者ハットリ君」作者藤子不二雄氏生家
光禅寺境内のキャラクターの石像



バーベキュー

▶ 高齢者の体力づくり支援事業

カラダが喜ぶ！ニューエルダー元気塾

60才以上の世代を中心に人生の新たなスタートに向けて自分のカラダをもう一度、見つめ直す。加齢にともなうカラダの変化を知り、心地よいカラダの手入れ法を身に付け、毎日を元気で過ごす楽しいスポーツ・レクリエーションの秘訣を知る「60歳からはじめる元気づくり」講座を県内3会場で平成24年～26年に開催した。

平成24年度 黒部会場（黒部市）

平成24年9月14日（金） 9：00～12：30 会場 黒部市民会館	テーマ：カラダ・体力 再発見 講義 「納得！加齢がもたらすカラダの変化」 実技 「レク式体力チェック」「セルフチェック」
平成24年10月12日（金） 9：00～12：30 会場 黒部市民会館	テーマ：命を守り、運動、スポーツ・レクリエーションで元気アップ 実技 「こうすれば高まるあなたの体力」 実習 「もしも・・・を助ける救急救命法」
平成24年11月16日（金） 9：00～15：30 会場 黒部東部児童センター 黒部市保健センター	テーマ：楽しみ、仲間を見つけて元気アップ 実技 「レク式体力チェック」「セルフチェック」 「スマートスポーツを楽しもう」 クップ、スラックライン、バグジー、ラダーゲッター、太極拳 実習 「元気を創る食のあり方」「元気をつくるしゃべり場」



平成25年度 八尾会場（富山市）

平成25年9月20日（金） 9：00～12：30 会場 富山市八尾 健康福祉センター	テーマ：カラダ・体力 再発見 講義 「納得！加齢がもたらすカラダの変化」 実技 「レク式体力Ⅰ」「セルフチェック」 「安全で効果的なウォーキングの基本」
平成25年10月11日（金） 9：00～12：30 会場 富山市八尾 健康福祉センター	テーマ：命を守り、運動、スポーツ・レクリエーションで元気アップ 実技 「こうすれば高まるあなたの体力」 実習 「もしも・・・を助ける救急救命法」 実技 「スマートスポーツを楽しもう」太極拳
平成25年11月15日（金） 9：00～15：30 会場 富山市八尾 スポーツアリーナ	テーマ：楽しみ、仲間を見つけて元気アップ 実技 「スマートスポーツを楽しもう」 スポーツ吹き矢、クップ、フレッシュテニス 「レク式体力チェックⅡ」「セルフチェック」
平成25年11月22日（金） 9：00～11：30 会場 富山市八尾 健康福祉センター	テーマ：楽しみ、仲間を見つけて元気アップ 講義 「元気を創る食のあり方」 栄養素の基礎知識をまなぼう 実習 「元気をつくるしゃべり場」 スポーツを楽しむための工夫を話し合おう



平成 26 年度 大門会場（射水市）

平成 26 年 8 月 23 日（土） 9：00～12：00 会場 大門総合体育館	テーマ：カラダ・体力 再発見 講義 「納得！加齢がもたらすカラダの変化」 実技 「自分のカラダを知って楽しく動こう」 「いつでも、一人でできる楽々有酸素運動スローウォーキング」
平成 26 年 9 月 27 日（土） 9：00～12：00 会場 水戸田コミュニケーションセンター	テーマ：命を守り、運動、スポーツ・レクリエーションで元気アップ 実技 「こうすれば高まるあなたの体力」 実習 「もしも・・・を助ける救急救命法」
平成 26 年 10 月 18 日（土） 9：00～12：00 会場 棚田コミュニケーションセンター	テーマ：楽しみ、仲間を見つけて元気アップ 実技 「レク式体力チェック」「セルフチェック」 「スマートスポーツを楽しもうⅠ」 クップ、ラダーゲッター
平成 26 年 10 月 25 日（土） 9：00～12：00 会場 棚田コミュニケーションセンター	テーマ：楽しみ、仲間を見つけて元気アップ 実技 「スマートスポーツを楽しもうⅡ」 太極拳 実習 「元気をつくるしゃべり場」 スポーツを楽しむための工夫を話し合おう



▶ 公認指導者 スポーツ・レクリエーション指導者養成講習会

平成 29 年 10 月 21 日（土）～ 10 月 22 日（日）富山県民会館において 2 日間開催された。

指導者の使命は成人のスポーツ未実施者（月 1 回未満を含む）に手を差し伸べ、スポレク活動を生活に取り入れたライフスタイルを定着させることだ。



設立趣意書

1 趣 旨

レクリエーション活動は、一人ひとりのライフスタイル・健康づくり・生きがいづくり・介護予防・子どもたちの育成・自立支援・社会参加・地域づくり・地域文化の継承・自然環境保全等、私たちの社会が抱える課題や、問題の解決に向けて、さまざまな楽しさを基調として活動を通して働きかける任意団体として富山県レクリエーション協会を組織した。昭和 25 年発足から 61 年余、累々と活動発展を遂げてきた。現在加盟種目団体も 10 団体、一般・特別会員総数 1200 名余りとなった。対外的認知度や、社会的信頼性を更に高める為、そして（公財）日本レクリエーション協会の指針に挙げられている法人化の動静に鑑み、特定非営利活動法人化に平成 20 年度総会にて取り組むことが決定された。

2 設立に至るまでの経過

平成19年 4 月21日	平成19年度総会NPO法人化の方向性確認
平成20年 4 月26日	平成20年度総会組織体制にNPO法人化準備委員会設置
平成23年 4 月23日	NPO法人化設立総会
平成23年 9 月	NPO法人化設立理事総会
平成23年10月	NPO法人設立申請
平成24年 1 月	NPO法人設立認定
平成24年 1 月	NPO法人設立登記申請
平成24年 2 月 1 日	NPO法人設立登記完了

歴代役員一覧

平成 12 年度（平成 12 年 4 月）～ 令和元年度（令和 2 年 3 月）

年度	会 長	理事長	副理事長	事務局長
平成 12 年	宮本 弥生	安川 信義	弓部 裕明	村田 邦夫
平成 13 年	宮本 弥生	安川 信義	弓部 裕明	村田 邦夫
平成 14 年	宮本 弥生	安川 信義	弓部 裕明	村田 邦夫
平成 15 年	宮本 弥生	安川 信義	弓部 裕明	村田 邦夫
平成 16 年	宮本 弥生	安川 信義	弓部 裕明	村田 邦夫
平成 17 年	宮本 弥生	弓部 裕明	西 利行 村田 邦夫	高橋 富雄
平成 18 年	宮本 弥生	弓部 裕明	西 利行 村田 邦夫	高橋 富雄
平成 19 年	宮本 弥生	弓部 裕明	武内 靖子 牧野 和子	高橋 富雄
平成 20 年	宮本 弥生	弓部 裕明	武内 靖子 牧野 和子	高橋 富雄
平成 21 年	宮本 弥生	弓部 裕明	武内 靖子 牧野 和子	高橋 富雄
平成 22 年	宮本 弥生	弓部 裕明	武内 靖子 牧野 和子	高橋 富雄
平成 23 年	宮本 弥生	弓部 裕明	武内 靖子 牧野 和子	高橋 富雄
平成 24 年	仲 外喜雄	弓部 裕明	武内 靖子 牧野 和子	高橋 富雄
平成 25 年	仲 外喜雄	弓部 裕明	牧野 和子 炭田 亮子	高橋 富雄
平成 26 年	仲 外喜雄	弓部 裕明	牧野 和子 炭田 亮子	高橋 富雄
平成 27 年	仲 外喜雄	弓部 裕明	牧野 和子 炭田 亮子 段 幸子	高橋 富雄
平成 28 年	仲 外喜雄	弓部 裕明	牧野 和子 炭田 亮子 段 幸子	高橋 富雄
平成 29 年	仲 外喜雄	弓部 裕明	牧野 和子 炭田 亮子 段 幸子	高橋 富雄
平成 30 年	仲 外喜雄	弓部 裕明	牧野 和子 炭田 亮子 段 幸子	高橋 富雄
令和元年	藤井 裕久	弓部 裕明	炭田 亮子 段 幸子	高橋 富雄

法人化
平成24年2月1日

種目加盟団体の承認年度

令和 2 年 3 月現在

No.	加盟年度	加 盟 協 会
1	平成 11 年	富山県フライングディスク協会
2	平成 11 年	富山県ドッジボール協会
3	平成 12 年	富山県ターゲット・バードゴルフ協会
4	平成 13 年	富山県グランド・ゴルフ協会
5	平成 15 年	NPO 法人富山県ダンススポーツ連盟
6	平成 15 年	(公社) 日本 3 B 体操協会富山県支部
7	平成 16 年	富山県ユニカール協会
8	平成 16 年	富山県スポーツチャンバラ協会
9	平成 20 年	富山県ペタンク連盟
		富山県ディスコン協会 (H26.3.18 退会)
10	平成 28 年	富山県ターゲット・バードゴルフ連盟
11	平成 30 年	富山県パークゴルフ協会連合会
12	平成 30 年	富山県スポーツウエルネス吹矢協会

市町村加盟協会承認年度

No.	加盟年度	加 盟 協 会
1	平成 29 年	射水市レクリエーション協会

(公財) 日本レクリエーション協会 課程認定校

No.	加盟年度	加 盟 校
1	昭和 60 年	高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所 幼児教育科
2	平成 4 年	富山健康科学専門学校 (H28.3 退会)
3	平成 8 年	富山女子短期大学 健康福祉学科
4	平成 9 年	富山医療福祉専門学校 介護福祉学科
5	平成 11 年	北陸ビジネス福祉専門学校 (H28.3 退会)
6	平成 11 年	富山福祉短期大学 (H28.3 退会)



加盟団体紹介



富山市レクリエーション協会

■団体名

富山市レクリエーション協会

■代表者および会員数

(会長) 高橋 富雄

【加盟団体】16 種目

■事務局 所在地

富山市新桜町 7-38

富山市市民生活部スポーツ健康課内

●活動紹介

本協会は、「レクリエーションを普及振興し、レクリエーションを通して市民の健全な心身の発達とスポーツ文化の発展に寄与する」ことを目標として活動しております。

呉羽丘陵ウオークでは、毎年、アトラクションとして、ニュースポーツの体験会を開催しております。

●今後の抱負や活動計画

近年では、会員の減少や指導者の高齢化な

どの問題を抱えている中、各加盟団体では、指導者の資質向上・育成や個人会員の募集を積極的に行っており、引き続き、競技団体と生涯スポーツ団体の融和発展を図ってまいります。また、ニュースポーツ等の普及、指導者の育成、各種イベントへの積極的な協力を行ってまいります。



高岡市民レクリエーション協会

■団体名

高岡市民レクリエーション協会

■代表者および会員数

(会長) 曾田 康司

(会員) 500 名

■事務局 所在地

高岡市問屋町 32 番地 水持産業株式会社様内

●活動紹介

○高岡市民レクリエーション大会 主催

○高岡七夕まつり 民謡街流し 参画

○高岡万葉祭り 芸能発表 参画

●今後の抱負や活動計画

これからの少子高齢化を見据え、全ての方々に充実した生涯生活を送って頂けるよう活動していきます。



創立 40 周年記念式典祝賀会



毎年開催している
高岡市民レクリエーション大会

氷見市レクリエーション協会

■団体名

氷見市レクリエーション協会

■代表者および会員数

(会長) 弓部 裕明

(会員) 10 名

■事務局 所在地

氷見市栗原 543-1 石上隆宏様方



●活動紹介

当協会ではレクリエーション活動を通して、生きがいづくり、健康・体力づくり、仲間づくり、町づくり、環境づくりを目指し様々な事業を展開しています。

生涯スポーツの提言、第3部市民体育大会の開催や小学校親子活動でのレク指導のほか、高齢者の健康寿命を延ばし生きがいのある高齢期を、という事で市内数か所で『健康ひろば』の開催も行っています。

●今後の抱負や活動計画

レクリエーションは人間の生きる喜びです。

- ①レクで健康を高め、うるおいのある生活を築こう。
- ②レクの輪を地域に広げ、住みよいまちをつくろう。
- ③よりよいレク環境をつくるために立ちあがろう。

以上のスローガンのもと、広くレクリエーションの普及活動を行っていきます。

黒部市レクリエーション協会

令和3年3月退会

■団体名

黒部市レクリエーション協会

■代表者および会員数

(会長) 石川 幹夫

(会員) 15 人

■事務局 所在地

富山県黒部市三日市 3048 牧野和子様方

●活動紹介

元気・健康・明るいまち黒部を目指して、市民の余暇活動支援のための活動を行っています。

○ウォークラリー、まち歩き

親子や友達等のグループで歩きながら地域を学ぶ活動として、ウォークラリーやまち歩きを行っています。

○レクリエーション教室

市体協と協力し、小学生を対象とした教室を年8回開催しています。ゲーム性のあるボール遊びやリ

レー、スラックライン、パークゴルフなど体を動かす活動の他、ペーパークラフトや防災グッズ作りなど多岐にわたる活動を行っています。

○児童クラブ大会への支援

大会後のアトラクションとしてレク協コーナーを担当し、人間オセロやフリフリ 30 秒など、全身を使う楽しい活動を提供しています。



●今後の抱負や活動計画

会員数の減少、また高齢化に伴い、なかなか活動を続けるのが難しくなっている中、2020年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、すべての活動を中止しました。今後は状況を見て、できる範囲で活動を続けていきたいと思っています。

》 砺波市レクリエーション協会

■団体名

砺波市レクリエーション協会

■代表者および会員数

(会長)

(会員) 10 名

■事務局 所在地

砺波市五郎丸 898 野村秀子様方

●活動紹介

昭和 29 年 4 月より、先人達が築いてくださった協会活動を細々と続けている。

昭和 62 年から始まった「三笠宮杯ゴルフ大会」の運営は、学生ボランティアも含め砺波市レク挙げて協力してきた。チューリップフェアでの和踊り「チューリップ踊り」は、協会活動の柱となっていて、各校下婦人会への踊り指導を続けている。

平成 24 年からは富山県レク協会からの要請もあり、県立南砺福野高校への講師派遣は今

も続いている。

「マンカラ」体験交流会は、朝市での子どもたち、公民館では人生の先輩方が夢中になっている。チューリップ公園ではウォークラリー大会、砺波総合運動公園ではノルディック体験会を開催した。



●今後の抱負や活動計画

会員と地域の皆さんが、一度きりの人生を心豊かに過ごすお手伝いをみんなで協力しながら楽しくやっていきたいと思っている。

一石三鳥の『エコ&楽しく&体に良い』簡単レクを紹介していきたい。

》 立山町レクリエーション協会

■団体名

立山町レクリエーション協会

■代表者および会員数

(会長) 前田 智志

(会員) 14 名

■事務局 所在地

中新川郡立山町前沢 3639 段幸子様方

●活動紹介

立山町民ウォークラリー大会（6 月）、立山町民レクリエーション大会（12 月）を協会設立時より開催。どの大会もレクリエーションゲームやニュースポーツを取り入れレクリエーションの普及活動もはかっています。また、地域のいきいきサロンへの講師派遣で高齢者の健康づくりの支援活動に取り組んでいます。

○ウォークラリー

○レクリエーション大会



●今後の抱負や活動計画

○少子高齢社会に向けて、レクリエーションで「こころの健康づくり」と「身体の健康づくり」の支援活動に取り組みレクリエーション活動の普及に努める。

○有資格者やレクリエーションに理解してもらえる会員を増やすよう努める。

八尾町レクリエーション協会

■団体名

八尾町レクリエーション協会

■代表者および会員数

(会長) 西 利行

(会員) 16 名

■事務局 所在地

富山市八尾町水口 1536 吉森一朗様方

高齢者の健康づくり推進に努めている。介護予防を兼ねて毎週火曜日に実施している。



●活動紹介

フォークダンスの例会を主として、ウォークラリー大会の参加、地区のいきいきサロン、老人会のスポーツ活動への講師派遣を通じ高



●今後の抱負や活動計画

少子高齢化社会に向けて、人と人との繋がりを大切に、心身共に健康な地域づくりができるよう、レクリエーション活動を通じて努力していきたい。

婦中町レクリエーション協会

■団体名

婦中町レクリエーション協会

■代表者および会員数

(会長) 高橋 富雄

(会員) 約 20 名

■事務局 所在地

富山市婦中町下吉川 29 高橋富雄様方

では、「あそびの日」写真コンテストで（公財）日本レクリエーション協会理事長賞を受賞した。



●活動紹介

昭和 34 年から有志が集まり婦中町レクリエーション協会が発足した。2000 年とやま国体に合わせて、昭和 63 年から再始動し「婦中音頭」とゲートボールの普及を図り、最盛時には約 1,500 人の会員を集めていた。その後、平成元年から「街なかウォークラリー」を 30 年間継続実施している。



第 30 回記念大会

●今後の抱負や活動計画

新たな指導者を育成し、ウォークラリーやレクリエーション大会を今後も実施していきたい。

射水市レクリエーション協会

■団体名

射水市レクリエーション協会

■代表者および会員数

(会長) 島 正己

(会員) 7名

■事務局 所在地

射水市南太閤山 11-103 松本郁代様方



●活動紹介

会員は各々個性が強くパワフルで、様々な分野で活躍されている方々で構成されている小さな協会です。保育園での親子活動や農業産業まつり等の参加者に、ニュースポーツの体験を楽しんでもらっています。射水市レクリエーション協会で「ウォークラリー大会」を独自開催できるようになるため、富山県レク協会のご指導のもと、勉強会も行っています。

●今後の抱負や活動計画

今後はウォークラリー大会開催に向けて、計画を進めています。射水市の好い場所をたくさんの人に知ってもらえる機会になればと思います。



入善町レクリエーション協会

令和3年3月退会

■団体名

入善町レクリエーション協会

■代表者および会員数

代表者 村田 邦夫

■事務局 所在地

下新川郡入善町下飯野新 312-1

村田邦夫様方

富山県フライングディスク協会

■団体名

富山県フライングディスク協会

■代表者および会員数

(会長) 牧内 直哉

(会員) 13 名

■事務局 所在地

下新川郡入善町下飯野新 386-1

村田和孝様方

○大会、競技会等の開催、共催および後援



●活動紹介

平成 11 年 (1999 年) 3 月に設立し、富山県のフライングディスク競技 (アルティメット、ディスクゴルフ、ドッジビー、他全 11 種目) の統一組織として、フライングディスク競技の普及及び振興を図り、健全で豊かな文化生活の向上に寄与することを目的とした活動を続けています。

○フライングディスクの普及活動

○講習会の開催及び指導員の養成

○フライングディスク愛好者組織の育成強化
および助成

●今後の抱負や活動計画

「フリスビー」が登録商標であることから、世界フライングディスク連盟や一般社団法人日本フライングディスク協会と同様に「フライングディスク」の呼称を用いています。

「IOC (国際オリンピック委員会)・IPC (国際パラリンピック委員会) 承認の高度な競技スポーツ」として、また誰でも楽しめる「みんなのスポーツ・生涯スポーツ (Sports for All)」として、フライングディスクの普及・振興に努力していきます。

富山県ドッジボール協会

■団体名

富山県ドッジボール協会

■代表者および会員数

(会長) 中西 修

(会員) JDBA 会員 112 名 : 加入クラブ : 8 チーム

■事務局 所在地

富山市五福 9 区 4419-2 玉谷健一様方

【定例会日時】年 7 回の大会時前に開催 (2 ~ 3 H 程度)

○チーム後継者や指導者の育成を視野に入れて活動している。(OB・OG・ママさん)



OB

ママさん

●活動紹介

JDBA = 『(一般財団法人) 日本ドッジボール協会』と提携して、ドッジボールの競技強化、ならびに普及活動をしています。

○小学校低学年はジュニアとして、ドッジボールに親しみ、スポーツ基礎体力をつける。

○小学高学年はレギュラーとして、年 2 回全国大会に通じる富山県大会を実施。全国レベルチームを招集し大会を企画実施し、県内の競技レベルアップも図る。

●今後の抱負や活動計画

相手にボールを当てる競技は『ドッジボール』しかなく、一瞬の判断が連続に見ていても飽きない 5 分間のスリリングなスポーツです。スポーツの入口として、今後も小学生の競技人口を確保し普及活動を継続していきます。

○児童クラブ、各スポーツ教室などへの講師派遣

○PTA からの審判員派遣依頼への公認審判員派遣

富山県ターゲット・バードゴルフ協会

■団体名

富山県ターゲット・バードゴルフ協会

■代表者および会員数

(会長) 山岸 銀七

(会員) 61 名

■事務局 所在地

砺波市福岡 303

近年の主な大会

(年度)	(全国大会開催地)	(東日本開催地)
令和元年	宮崎県日南市 ＜第 17 回大会＞	青森県青森市 ＜第 5 回大会＞
平成 30 年	東京都府中市 ＜第 16 回大会＞	滋賀県 ＜第 4 回大会＞
平成 29 年	鹿児島県鹿児島市 ＜第 15 回大会＞	茨城県日立市 ＜第 3 回大会＞

●活動紹介

県協会事業は約 8 回 / 毎年 実施。

日本協会主催事業として、全国・東日本大会に参加。



(令和元年 宮崎県日南市での全国大会)

●今後の抱負や活動計画

○ターゲット・バードゴルフ富山県組織が協会と連盟に分裂状態となっているのを早く一つの団体となるよう、互いの役員は譲り合いの精神で取り組む必要があると考えている。

○競技人口の高齢化を打破するため、県内の大学や専門学校に働きかけ、体育の授業やサークル活動に積極的に取り入れていただけるよう取り組んでいきたい。

富山県グラウンド・ゴルフ協会

■団体名

富山県グラウンド・ゴルフ協会

■代表者および会員数

(会長) 山沼 茂敏

(会員) 445 名

■事務局 所在地

富山県高岡市一番町 1 中川祥弘様方

グラウンド・ゴルフ交歓大会(北信越 5 県)」平成 9 年より北陸紀行として(北陸 3 県)毎年 5 月、平成 13 年に「全国グラウンド・交歓大会」を富山市にて、平成 17 年より毎年「越中万葉朗唱の会交歓大会」を高岡市にて実施。平成 22 年に、「全国スポレク祭」を高岡市にて、平成 30 年に「ねんりんピック富山 2018」を高岡市にて開催致しました。

平成 28 年第 71 回国民体育大会で団体の部で 2 位、個人の部で 5 位の成績を収めました。



●活動紹介

富山県グラウンド・ゴルフ協会を平成 3 年設立、同年、日本グラウンド・ゴルフ協会、平成 4 年富山県生涯スポーツ協議会、平成 13 年富山県レクリエーション協会に加盟、県内では 8 市が協会・連盟として加入、会員の内、指導者では公認グラウンド・ゴルフ指導員を含め 117 名が指導者として活動をしています。

各種大会、県春季大会、県民スポレク祭、ねんりんピック選手選考大会、県フリースタイム、県秋季大会、県交流大会等、年間を通して活動をしています。

平成 8 年より 6 年毎に「北信越地区ブロック

●今後の抱負や活動計画

平成 30 年 4 月より、富山県内にて初めて専用の「グラウンド・ゴルフ競技場」が高岡市岩坪地区内に開設されました。これを機会に県内の中高齢者の健康維持及びフレイル予防にと生涯スポーツの楽しさをグラウンド・ゴルフを通じて、満喫出来る様、活動をしてまいります。

》 特定非営利活動法人富山県ダンススポーツ連盟

■団体名

特定非営利活動法人富山県ダンススポーツ連盟

●代表者および会員数

(会長) 高田 純一

(会員) 210 名

●事務局 所在地

富山市西大泉 15-8 (株)ジェル様内



●活動紹介

ダンススポーツの普及と発展をもって、県民の心身の健全な発展と社会への貢献を目的とし、ジュニア選手やトップアスリート育成活動のほか、健康セミナーでのダンススポーツの指導、三世代交流講習会、ロシア沿海地方とのダンスを通じた国際交流、ダンススポーツ指導員・ジュニア指導員の養成、競技会運営スタッフの育成など、多くの県民の皆様にダンススポーツの魅力をお伝えできるよう幅広い活動を行ってまいりました。

●今後の抱負や活動計画

年齢や性別を問わず多くの県民の皆様音楽に合わせて身体を動かすダンス本来の楽しさを体感してもらいダンス愛好者を増やし、県民の皆様健康維持貢献できるよう活動してまいります。

○長寿と認知症予防にもなる高齢者向けダンス普及事業

○心触れ合う交流事業 (三世代交流・国際交流等)

○ふるさと富山の次世代を担う育成支援事業

》 (公社)日本3 B 体操協会 富山県支部

■団体名

(公社) 日本3 B 体操協会富山県支部

■代表者および会員数

(支部長) 白川 晴美

(会員) 指導者 70 名 会員 約 1300 名

■事務局 所在地

中新川郡立山町竹林 6-11 古野京子様方

が楽しみながら続けておられます。

教室活動の他に、地域住民の健康づくり、コミュニティづくりの為に講習会等積極的に活動しています。



●活動紹介

2012 年 (平成 24 年) より公益事業を目的とした法人団体として活動しています。

2017 年 (平成 29 年) 文部科学省より生涯スポーツ優良団体表彰を受賞。

3 B 体操は独自の 3 つの用具を使用し、赤ちゃんともママ、親子、お子様、大人、ご年配、障がいのある方と様々なニーズに合わせて生涯を通じて、心身共に健康な日常生活が送れるように年齢性別関係なく、誰にでも楽しみながら続けられる健康体操です。

現在、210 教室、1300 名余りの会員の方々

●今後の抱負や活動計画

今年度、創立 50 周年を迎え記念大会を実施します。また 12 月には大阪城ホールにて全国大会を予定しています。

今後も 3 B 体操 3 つのキーワード「遊びの要素」「気軽に」「体に無理なく」のもと生涯を通じて会員皆様の健康意識の向上と心身の健やかな生活を推進し健康寿命延伸を目指します。

富山県ユニカール協会

■団体名

富山県ユニカール協会

■代表者および会員数

(会長) 浜野 誠三

(会員) 130 名

■事務局 所在地

富山市室町通り 1-3-5-302 寺脇清子様方

●活動紹介

当協会主催の交流会は年 4 回開催しており、毎回 20 チーム、60 人ほどが参加し熱戦をくりひろげている。平成 28 年より富山市ユニカール協会でも各地区主催の交流会を年 5 回開催しており、令和元年からはオープン参加となり氷見、小杉、高岡地区からも 80 人以上が参戦している。

平成 30 年 7 月には、氷見市ふれあいセンターで第 19 回西日本大会を開催し、36 チーム 112 名の仲間が集い交流を深めた。この大



会で富山県ユニカール協会の鶴坂チームが 4 位に入賞した。

●今後の抱負や活動計画

ユニカールのルールはシンプルで気軽にゲームを楽しめるので、ジュニア、高齢者、障がい者への普及活動にも取り組んでいきたいと考えている。

また、全国レクリエーション大会に毎年出場しており、平成 23 年滋賀県で開催された第 65 回全国レクリエーション大会には氷見チームが 3 位に入賞した。技術を磨き作戦を練って全国大会優勝をめざしたい。

富山県スポーツチャンバラ協会

■団体名

富山県スポーツチャンバラ協会

■代表者および会員数

(会長) 綿引 和洋

(会員) 180 名

■事務局 所在地

富山市岩瀬文化町 12 堀麻由美様方

●活動紹介

国際スポーツチャンバラ協会の指導の下、スポーツチャンバラの普及活動を行っております。

○県大会や段級審査会の計画・開催、全日本選手権・世界選手権、他県大会に参加することにより競技力の向上を目指しています。



○本部主催の講習会に参加し、指導者及び審判の育成も行っています。



○愛好者の拡大のため体験会の開催、練習会場の増設、メディアの利用など普及活動にも力を入れています。



●今後の抱負や活動計画

スポーツチャンバラを通じて、健康づくりを楽しみ、青少年の健全育成と中高年の生きがいづくりに寄与していきたいと考えています。

富山県ターゲット・バードゴルフ連盟

■団体名

富山県ターゲット・バードゴルフ連盟

■代表者および会員数

(会長) 米沢 清志

(会員) 92 名

■事務局 所在地

南砺市信末 143 石村一夫様方

バードゴルフ協会」に加盟し、近隣県や親交のある全国の愛好者の皆さん方と友好を深めながら楽しんでいます。

「ねんりんピック富山 2018」では、正式種目ではありませんでしたが、協賛交流大会として開催し全国から多くの仲間たちが集い大会を盛り上げることができました。

県内では、親睦大会をはじめ研修会、講習会を開催し会員の拡大に努めています。

●活動紹介

「富山県ターゲット・バードゴルフ連盟」は、平成 27 年にターゲット・バードゴルフを愛する精鋭が立ち上がり、新しい組織である当連盟を設立しました。

設立当初は活動する資金もなく、全くの「ゼロ」からのスタートでした。当時の役員から寄付を募りわずかな資金で活動を開始しました。

設立後上部団体である「全日本ターゲット・



●今後の抱負や活動計画

スポーツを通じ健康で人との交流つながりを深めるために、愛好者の拡大を図りたい。

富山県パークゴルフ協会連合会

■団体名

富山県パークゴルフ協会連合会

■代表者および会員数

(会長) 四方 正治

(会員) 4,054 名

■事務局 所在地

射水市加茂中部 569

●今後の抱負や活動計画

○ルール・マナーの向上 (講師派遣)

○初心者講習会の開催

2021 年度競技大会

5/23	富山県民スポレク祭
6/20	富山県選手権大会
7/18	北日本新聞社長杯
9/26	連合会長杯

●活動紹介

パークゴルフが北海道幕別町運動公園で創設されて以来歩いてきた歴史を、パークゴルフ発祥の理念と目的を継承し、多くの人に伝えていくことを一義とし普及活動に努める。

○自然を大切にするスポーツ

○三世代交流のスポーツ

○安全でたのしいスポーツ



富山県スポーツウエルネス吹矢協会

■団体名

富山県スポーツウエルネス吹矢協会

■代表者および会員数

(会長) 廣嶋 治樹

(会員) 約 100 名

■事務局 所在地

富山市城村 849-3 廣嶋治樹様方

●活動紹介

スポーツウエルネス吹矢は、1998 年日本で生まれた新しいスポーツで、高い運動能力や腕力はいりません。スポーツですから定められた基本動作や、統一されたルールの下で競技が行われています。

吹矢の基本は、腹式呼吸と胸式呼吸を合わせた、スポーツウエルネス吹矢式呼吸法にあります。

吹矢式呼吸法を最大限に行うための動作が「基本動作」であります。「礼に始まり 礼に終わる」

美しい動作と、深い呼吸で集中力を高め体に活力を与えるのです。

吹矢式呼吸法を行うことで、横隔膜を上下させ酸素を肺の奥深くまで送り込むことにより血液循環が良くなり、さまざまな相乗効果（動脈硬化予防、冷え性の改善、肩こりの改善、内臓機能の活性化、ストレス解消など）が得られます。



●今後の抱負や活動計画

今年はコロナウイルス感染拡大防止のため活動が制限され、各支部では練習施設の状況に応じて活動し、県協会行事は全て中止とした。新年度は事情が許す限り、県大会、北陸三県大会の開催やねりんピック岐阜への参加を予定している。

また、公認指導員試験や研修会、更新講習会などの開催は従来通り行う予定である。

富山県ペタンク連盟

■団体名

富山県ペタンク連盟

■代表者および会員数

代表者 中村 正敏

■事務局 所在地

下新川郡入善町下飯野新 312-1

村田邦夫様方

(公財) 日本レクリエーション協会公認指導者数

令和2年3月31日現在

(名)

所在地	資格名 指導者数	レクリエーション・インストラクター		レクリエーション・コーディネーター	福祉レクリエーション・ワーカー	余暇開発士	スポーツ・レクリエーション指導者	延べ数
			うち 準中級					
富山県 富山市	250	239	125	10	9	3	6	267
高岡市	100	95	37	2	5		2	104
射水市	59	56	26	3	1	1	3	64
南砺市	37	36	26		1			37
砺波市	36	36	20		2		2	40
氷見市	32	27	13	4	3		3	37
魚津市	36	36	23	1	1		3	41
黒部市	32	31	20	1	3		1	36
滑川市	38	37	24		2			39
小矢部市	13	12	4		1	1	1	15
立山町	24	22	13	4	1		1	28
入善町	24	19	13	5	2		1	27
上市町	18	18	9		1			19
朝日町	6	6	3					6
舟橋村	2	2	1					2
石川県	4	4	3					4
岐阜県	5	5	5					5
愛知県	1	1	1					1
新潟県	4	4	3					4
長野県	1	1	1					1
神奈川県	1			1				1
東京都	1	1	1					1
合 計	724	688	371	31	32	5	23	779

特定非営利活動法人 富山県レクリエーション協会会員数

(名)

所在地	富山市	高岡市	射水市	黒部市	合 計
会員数	5	1	1	2	9

特定非営利活動法人 富山県レクリエーション協会定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、特定非営利活動法人富山県レクリエーション協会という。

(事務所)

第2条 この法人は、事務所を富山県富山市舟橋北町7番1号に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、富山県民に対して、レクリエーションの健全な普及発展を図り、余暇を利活用して健康を増進し、教養を高め文化生活的向上に寄与することを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 保健、医療又は、福祉の増進を図る活動
- (2) 社会教育の推進を図る活動
- (3) まちづくりの推進を図る活動
- (4) 学術、文化、芸術又は、スポーツの振興を図る活動
- (5) 子どもの健全育成を図る活動
- (6) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動

(事業)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) レクリエーション運動の普及・奨励・広報啓発・用具販売貸出事業
- (2) レクリエーション指導者の養成・育成事業
- (3) レクリエーション大会・研究会の実施・調査・資料の収集並びに刊行事業
- (4) レクリエーション団体の連絡・協調事業

第3章 会員

(種別)

第6条 この法人の会員は、次の2種とし、正会員をもって特定非営利活動促進法（以下「法」という。）上の社員とする。

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人及び団体
- (2) 一般会員 この法人の趣旨に賛同して入会した個人及び団体

(入会)

第7条 会員の入会については、特に条件を定めない。

- 2 会員として入会しようとするものは、理事長が別に定める入会申込書により、理事長に申し込むものとし、理事長は、正当な理由がない限り、入会を認めなければならない。
- 3 理事長は、前項のものの入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

(入会金及び会費)

第8条 会員は、総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

(会員の資格の喪失)

第9条 会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 退会届の提出をしたとき。
- (2) 本人が死亡し、又は会員である団体が消滅したとき。

- (3) 継続して2年以上会費を滞納したとき。
- (4) 除名されたとき。

(退会)

第10条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

(除名)

第11条 会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、総会の議決により、これを除名することができる。この場合、その会員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) この定款等に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

(抛出金品の不返還)

第12条 既納の入会金、会費及びその他の抛出金品は、返還しない。

第4章 役員及び職員

(種別及び定数)

第13条 この法人に次の役員を置く。

- (1) 理事 10名以上13名以内
- (2) 監事 2名以上3名以内
- 2 理事のうち、1人を理事長、2人を副理事長とする。

(選任等)

第14条 理事及び監事は、総会において選任する。

- 2 理事長及び副理事長は、理事の互選とする。
- 3 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。
- 4 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねることができない。

(職務)

第15条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。

- 2 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるとき又は理事長が欠けたときは、理事長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。
- 3 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。
- 4 監事は、次に掲げる職務を行う。
 - (1) 理事の業務執行の状況を監査すること。
 - (2) この法人の財産の状況を監査すること。
 - (3) 前2号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告すること。
 - (4) 前号の報告をするため必要がある場合には、総会を招集すること。
 - (5) 理事の業務執行の状況又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べ、若しくは理事会の招集を請求すること。

(任期等)

第16条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠のため、又は増員によって就任した役員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。
- 3 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(欠員補充)

第17条 理事又は監事のうち、その定数の3分の1を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

(解任)

第 18 条 役員が次の各号の一に該当するに至ったときは、総会の議決により、これを解任することができる。この場合、その役員に対し、議決する前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) 心身の故障のため、職務の遂行に堪えないと認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったとき。

(報酬等)

第 19 条 役員は、その総数の 3 分の 1 以下の範囲内で報酬を受けることができる。

- 2 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。
- 3 前 2 項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(職員)

第 20 条 この法人に、事務局長その他の職員を置く。

- 2 職員は、理事長が任免する。

第 5 章 総会

(種別)

第 21 条 この法人の総会は、通常総会及び臨時総会の 2 種とする。

(構成)

第 22 条 総会は、正会員をもって構成する。

(権能)

第 23 条 総会は、以下の事項について議決する。

- (1) 定款の変更
- (2) 解散
- (3) 合併
- (4) 事業計画及び収支予算並びにその変更
- (5) 事業報告及び収支決算
- (6) 役員の選任又は解任、職務及び報酬
- (7) 入会金及び会費の額
- (8) 借入金（その事業年度内の収入をもって償還する短期借入金を除く。第 48 条において同じ。）その他新たな義務の負担及び権利の放棄
- (9) 事務局の組織及び運営
- (10) その他運営に関する重要事項

(開催)

第 24 条 通常総会は、毎年 1 回開催する。

- 2 臨時総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 理事会が必要と認め招集の請求をしたとき。
- (2) 正会員総数の 5 分の 1 以上から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。
- (3) 第 15 条第 4 項第 4 号の規定により、監事から招集があったとき。

(招集)

第 25 条 総会は、前条第 2 項第 3 号の場合を除き、理事長が招集する。

- 2 理事長は、前条第 2 項第 1 号及び第 2 号の規定による請求があったときは、その日から 30 日以内に臨時総会を招集しなければならない。
- 3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも 5 日前までに通知しなければならない。

(議長)

第 26 条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

(定足数)

第 27 条 総会は、正会員総数の 2 分の 1 以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第 28 条 総会における議決事項は、第 25 条第 3 項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

第 29 条 各正会員の表決権は、平等なるものとする。

2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。

3 前項の規定により表決した正会員は、第 27 条、前条第 2 項、次条第 1 項第 2 号及び第 49 条の適用については、総会に出席したものとみなす。

4 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その議事の議決に加わることはできない。

(議事録)

第 30 条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1) 日時及び場所

(2) 正会員総数及び出席者数（書面表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。）

(3) 審議事項

(4) 議事の経過の概要及び議決の結果

(5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人 2 人以上が署名、押印しなければならない。

第 6 章 理事会

(構成)

第 31 条 理事会は、理事をもって構成する。

(権能)

第 32 条 理事会は、この定款で定めるもののほか、次の事項を議決する。

(1) 総会に付議すべき事項

(2) 総会の議決した事項の執行に関する事項

(3) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項

(開催)

第 33 条 理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

(1) 理事長が必要と認めたとき。

(2) 理事総数の 3 分の 1 以上から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。

(3) 第 15 条第 4 項第 5 号の規定により、監事から招集の請求があったとき。

(招集)

第 34 条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長は、前条第 2 号及び第 3 号の規定による請求があったときは、その日から 30 日以内に理事会を招集しなければならない。

3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも 5 日前までに通知しなければならない。

(議長)

第 35 条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

(議決)

- 第 36 条 理事会における議決事項は、第 34 条第 3 項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。
- 2 理事会の議事は、理事総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

- 第 37 条 各理事の表決権は、平等なるものとする。
- 2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決することができる。
- 3 前項の規定により表決した理事は、前条第 2 項及び次条第 1 項第 2 号の適用については、理事会に出席したものとみなす。
- 4 理事会の議決について、特別の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることができない。

(議事録)

- 第 38 条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。
- (1) 日時及び場所
- (2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名（書面表決者にあつては、その旨を付記すること。）
- (3) 審議事項
- (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項
- 2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人 2 人以上が署名、押印しなければならない。

第 7 章 資産及び会計

(資産の構成)

- 第 39 条 この法人の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。
- (1) 財産目録に記載された資産
- (2) 入会金及び会費
- (3) 寄付金品
- (4) 財産から生じる収入
- (5) 事業に伴う収入
- (6) その他の収入

(資産の管理)

- 第 40 条 この法人の資産は、理事長が管理し、その方法は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(会計の原則)

- 第 41 条 この法人の会計は、法第 27 条各号に掲げる原則に従って行うものとする。

(事業計画及び予算)

- 第 42 条 この法人の事業計画及びこれに伴う収支予算は、理事長が作成し、総会の議決を経なければならない。

(暫定予算)

- 第 43 条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じ収入支出することができる。
- 2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(予備費の設定及び使用)

- 第 44 条 予算超過又は予算外の支出に充てるため、予算中に予備費を設けることができる。
- 2 予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。

(予算の追加及び更正)

第 45 条 予算議決後にやむを得ない事由が生じたときは、総会の議決を経て、既定予算の追加又は更正をすることができる。

(事業報告及び決算)

第 46 条 この法人の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録等の決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに、理事長が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を経なければならない。

2 決算上剰余金を生じたときは、次事業年度に繰り越すものとする。

(事業年度)

第 47 条 この法人の事業年度は、毎年 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終わる。

(臨機の措置)

第 48 条 予算をもって定めるもののほか、借入金の借入れその他新たな義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、総会の議決を経なければならない。

第 8 章 定款の変更、解散及び合併

(定款の変更)

第 49 条 この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の 4 分の 3 以上の多数による議決を経、かつ、軽微な事項として法第 25 条第 3 項に規定する以下の事項を除いて所轄庁の認証を得なければならない。

- (1) 主たる事務所及び従たる事務所の所在地（所轄庁の変更を伴わないもの）
- (2) 資産に関する事項
- (3) 公告の方法

(解散)

第 50 条 この法人は、次に掲げる事由により解散する。

- (1) 総会の決議
- (2) 目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能
- (3) 正会員の欠亡
- (4) 合併
- (5) 破産手続開始の決定
- (6) 所轄庁による設立の認証の取消し

2 前項第 1 号の事由によりこの法人が解散するときは、正会員総数の 4 分の 3 以上の承諾を得なければならない。

3 第 1 項第 2 号の事由により解散するときは、所轄庁の認定を得なければならない。

(残余財産の帰属)

第 51 条 この法人が解散（合併又は破産手続開始の決定による解散を除く。）したときに残存する財産は、法第 11 条第 3 項に掲げる者のうち、総会で議決された者に譲渡するものとする。

(合併)

第 52 条 この法人が合併しようとするときは、総会において正会員総数の 4 分の 3 以上の議決を経、かつ、所轄庁の認証を得なければならない。

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第53条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。

第10章 雑則

(細則)

第54条 この定款の施行について必要な細則は、理事会の議決を経て、理事長がこれを定める。

附 則

- 1 この定款は、この法人の成立の日から施行する。
- 2 この法人の設立当初の役員は、次に掲げる者とする。

理事（理事長）	弓部 裕明
理事（副理事長）	武内 靖子
理事（副理事長）	牧野 和子
理事	段 幸子
理事	高橋 富雄
理事	辰尾 妙子
理事	後藤 博子
理事	渡邊 明美
理事	市森 房子
理事	炭田 亮子
理事	濱田 修百
理事	宮元 保
理事	笹山 治一
監事	種谷 祐治
監事	稲垣 征子

- 3 この法人の設立当初の役員の任期は、第16条第1項の規定にかかわらず、成立の日から平成25年6月31日までとする。
- 4 この法人の設立当初の事業計画及び収支予算は、第42条の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによるものとする。
- 5 この法人の設立当初の事業年度は、第47条の規定にかかわらず、成立の日から平成25年3月31日までとする。
- 6 この法人の設立当初の入会金及び会費は、第8条の規定にかかわらず、次に掲げる額とする。
 - (1) 会 費 正 会 員（団体）一口 10,000 円
 - 正 会 員（個人） 2,000 円
 - 一般会員（団体）一口 10,000 円
 - 一般会員（個人） 2,000 円

これは、当法人の定款である。

特定非営利活動法人富山県レクリエーション協会

理 事 弓 部 裕 明

編集後記

特定非営利活動法人富山県レクリエーション協会は、令和2年4月をもちまして創立70周年を迎え、ここに記念誌を発刊する運びとなりました。

令和2年上期に50年史追録の後の20年間分を70年史として発刊の予定にしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響をうけ、延期となってしまいました。謹んでお詫び申し上げます。原稿をお寄せいただきました関係各位の皆様には心より厚くお礼を申し上げます。

特定非営利活動法人富山県レクリエーション協会の70年の歴史を振り返りながら、諸先輩の功績に感謝しつつ、これからの活動により一層の発展をさせていきたいと考えております。

追記 記念誌の内容はCDでの発行と協会のホームページにて掲載いたします。

令和3年10月

編集長 弓部裕明

編集委員

高橋富雄 段 幸子 炭田亮子 宮崎泰子 大橋和子 今村昌代

特定非営利活動法人 富山県レクリエーション協会
創立 70 周年記念誌

発行日／令和 3 年 10 月

編集・発行／特定非営利活動法人 富山県レクリエーション協会
制作デザイン・構成／株式会社なかたに印刷



